

活動概要(2018年5月)

① 第1サイクル対象農家グループに対する普及ステップ7:Extension Activities for Farming Improvementの実施

1) Bardala Women Extension Group(トゥバス県・野菜農家グループ)の活動フォローアップ(2018/5/8、23、29)

ジェニン県の農産加工会社(Alnaser Factory & Cirinders Co.)とのマッチングで得た市場情報をもとに、農家グループは新規作物として加工用パプリカとトウガラシの栽培を開始することにした。その後、プロジェクトでは、加工用パプリカ栽培技術研修を農家グループに



に対して実施した。その農産加工会社は、エジプト産の原料からパレスチナ産に切り替えたいという意向を持っていたため、種子が無償で農家グループに提供され、技術支援も受けることができた(win-win の関係の構築)。Bardala 地区の農家では、次期作付け用の加工用パプリカの育苗やトウガラシの圃場栽培が開始されており、トゥバス県農業局の普及員(Mr. Hashim)が技術支援を行っている。

2) Frosh Beit Dajan Extension Sub-Group(ナブルス県・野菜農家グループ)の活動フォローアップ(2018/5/2)

農家グループは、市場訪問で小売店を訪問し、並んでいた他地域産のトマトの品質の低さを見て、自分たちの生産するトマトの品質の高さを実感した。その後、農家グループは、小売店への直売に関心を持ち、プロジェクトでは、農産物の販売促進のためのマーケティングとブランド化研修を実施した。その結果、収穫したトマトの中から品質の高いものだけを選別・差別化し、小売店に直売したいという案が農家から出された。しかし、これまでパレスチナでは差別化の事例がほとんどないことから、プロジェクトでは、サイズと価格の異なるダンボールと形状の異なるステッカーをトライアル用に提供し、どのような方法が小売店への直売に効果的か検証している。その結果を踏まえ、持続的且つ効果的な販売促進の方法を確立し、全域に普及していく方針である。



② 第2サイクル対象農家グループの技術研修教材作成のための情報収集

1) フリーケ栽培農家へのヒアリング(ジェニン県)(2018/5/14)

第2サイクルの対象農家グループ Maithalon and Sanor Farmer Extension Group(ジェニン県)は、訪問した穀物取引・加工業者からの市場情報として、フリーケの需要が高いことを知った。しかし、パレスチナでは、フリーケ栽培に係る既存の技術マニュアルがないことから、プロジェクトでは、フリーケを栽培している農家を訪問し、その栽培体系のマニュアル化を開始している。



フリーケとは？ 未熟な状態で収穫した小麦を火であぶって乾燥させた穀物。中東地域で広く食べられている。最近では、日本でも健康食品として販売されている穀物。

2) 養蜂技術研修教材作成のための普及員へのヒアリング(トゥルカレム県)(2018/5/22)

第2サイクルの対象農家グループ Saida Cooperative Association for Processing and Marketing of Rural Products(トゥルカレム県)は、プロジェクトの活動として訪問した Good Practice Farmer や農産物取引業者からの情報をもとに、技術研修の対象として養蜂を選定した。養蜂は、トマトやキュウリ等の野菜生産に比べると労力が少なく、ハーブ栽培と同じく、女性農民の負担軽減にも繋がる可能性のある農業である。プロジェクトでは養蜂技術の知識を持つトゥルカレム県農業局の普及員にヒアリングを行った。ヒアリングで得られた情報と既存の Good Practice Farmer の技術等をもとに、農家向けの技術マニュアルを作成する予定である。



③ 第1サイクル県農業局の自己資金によるEVAP普及パッケージの活動

ジェリコ県農業局は、農業局の自己資金を使った2年目の普及活動の対象として2つの農家グループを選定し、普及活動を開始している。

1) Marj Na'jeh Farmer Extension Group(ジェリコ県・野菜農家グループ) (2018/4/26、5/11)

県農業局普及員(Mr. Awad)がファシリテーターとなり、普及ステップ 2: Awareness Creation Tour のための参加型ワークショップを開催した(2018/4/26)。その後、農家グループが選定した訪問先への視察ツアーを農業局の自己資金で実施し、参加した農家は市場志向型農業に必要な情報を入手することができた。(2018/5/11)。



2) Auja Farmers Extension Group(ジェリコ県・畜産農家グループ) (2018/5/13)

県農業局普及員(Mr. Ali Shakhshir)がファシリテーターとなり、普及ステップ 3: Market Opportunity Finding のための参加型ワークショップを開催した。参加した農家は訪問先として子羊繁殖農家、家畜飼料販売業者、家畜薬販売業者を選定した。



④ 第2サイクル対象農家グループに対する普及ステップ7: Extension Activities for Farming Improvement の実施

1) Qalqilia Livestock Extension Group(カルキリヤ県・畜産農家グループ)

a) 農家グループの労働庁への登録手続きに係る研修の実施(2018/5/9)

普及ステップ 4: Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification で出された農家グループからの技術研修ニーズに基づいて、カルキリヤ県農業局は、農家グループの労働庁への登録手続きに係る研修を実施した。講師として、労働庁の担当者を招き、登録手続きについての説明を行い、参加者からの個別の質問について回答した。これまでのプロジェクトの活動を通じて、労働庁に登録をすることで、取り引きがしやすくなり、農業ビジネスの幅が広がることから、農家グループから研修実施の要望が上がっていた。今後、登録手続きには、県農業局普及員がフォローアップを行っていくこととなった。



⑤ 第2サイクル県農業局によるプロジェクト対象外の農家グループへのEVAP普及パッケージの応用

第2サイクル県農業局は、プロジェクト対象の農家グループ(各県農業局で2グループずつ)以外にも、EVAP普及パッケージ対象の農家グループの選定を独自に開始している。つまり、通常の普及活動において、EVAP普及パッケージを応用している。県農業局は、普及ステップ 1: Willingness and Readiness Confirmation を実施し、EVAP普及パッケージのコンセプトと普及活動の目的を農家グループと共有した。

- Jensafot Women Extension Group(カルキリヤ県)(2018/4/26)
- Al Jalama extension group(ジェニン県)(2018/5/2)
- Beit Hassan Farmer Extension Group(ナブルス県)(2018/5/10)
- Ateel Farmers Extension Group(トゥルカレム県)(2018/5/10)



カルキリヤ県農業局の普及活動でのEVAP普及パッケージの応用



トゥルカレム県農業局の普及活動でのEVAP普及パッケージの応用



ジェニン県農業局の普及活動でのEVAP普及パッケージの応用

